2023年3月期 第3四半期 決算補足説明資料



株式会社オープンドア (証券コード: 3926)



- 1. ハイライト
- 2. 新型コロナウイルス感染拡大による旅行市場への影響
- 3. 第3四半期 業績概要
- 4. 2023年3月期 3Qの取り組み
- 5. 2023年3月期 業績予想
- 6. 今後の主な取り組み予定
- 7. 株主優待について
- 8. 参考資料



1. ハイライト

- 2. 新型コロナウイルス感染拡大による旅行市場への影響
- 3. 第3四半期 業績概要
- 4. 2023年3月期 3Qの取り組み
- 5. 2023年3月期 業績予想
- 6. 今後の主な取り組み予定
- 7. 株主優待について
- 8. 参考資料

ハイライト



■ 新型コロナウイルス感染拡大による旅行市場への影響

- コロナ感染者数は10月を底に再び増加したものの、国内旅行市場については全国旅行支援や団体旅行などにより顕著に回復、 1月以降は感染者数は減少傾向となり、年末に一旦終了した全国旅行支援も補助率を下げたうえで1月10日から再開
- 海外旅行市場については円安の影響があるものの、日本を含めた各国の入出国規制が緩和され、業務渡航及び一部方面のレジャー 旅行が回復傾向
 - *5ページ「新型コロナウイルス感染拡大による旅行市場への影響」参照

■ 3Q実績

【会計期間(10月~12月)】

- 売上高 **500百万円**(前期3Q比 **+40.2%**、2020年3月期3Q比 **▲56.7%**)
- 営業利益 ▲41百万円(前期3Q実績 ▲110百万円、2020年3月期3Q実績 630百万円)
- 国内旅行市場の回復をうけ、売上高は前年同期を大きく上回り着地、営業損失も前年同期比で大幅に縮小
- コロナの影響は引き続きあるものの、売上高は着実に回復基調(コロナ前比 2Q ▲64.8% → 3Q ▲56.7%)
- 市場の回復を見越し、開発投資を加速(売上原価 前期3Q比 +58百万円)

■ 2023年3月期 業績予想

- 旅行市場は回復傾向にあるもののまだ不確実な要素もあり、2023年3月期の業績予想については現時点で『未定』とし、合理的な 予測が可能となった時点で公表
- 新型コロナはまだ収束とはいえないもののコロナが5類感染症相当になることで国内旅行市場についてはさらに回復が見込まれ、 海外旅行市場についても円安などの影響があるものの、今後の顕著な回復が期待される
- 強固な財務基盤と旅行需要に比例した業績回復を見越し、さらに開発投資を進めサービスの拡充及び競争力の強化を図る ※ 2023年3月期3Q末:自己資本比率 89.9%、現預金残高 約29億円



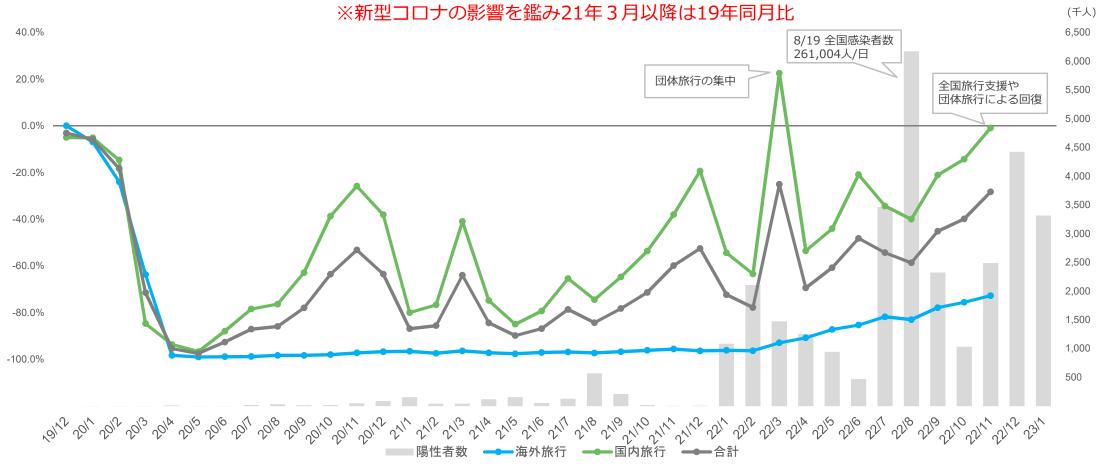
- 1. ハイライト
- 2. 新型コロナウイルス感染拡大による旅行市場への影響
- 3. 第3四半期 業績概要
- 4. 2023年3月期 3Qの取り組み
- 5. 2023年3月期 業績予想
- 6. 今後の主な取り組み予定
- 7. 株主優待について
- 8. 参考資料

新型コロナウイルス感染拡大による旅行市場への影響



- コロナ感染者数は10月を底に再び増加したものの、国内旅行市場については全国旅行支援や団体旅行などにより顕著に回復、 1月以降は感染者数は減少傾向となり、年末に一旦終了した全国旅行支援も補助率を下げたうえで1月10日から再開
- 海外旅行市場については円安の影響があるものの、日本を含めた各国の入出国規制が緩和され、業務渡航及び一部方面のレジャー旅行が回復傾向





出典:観光庁「主要旅行業者の旅行取扱状況速報」、厚生労働省 新型コロナウイルス感染症 オープンデータ 新規陽性者数の推移(日別)をもとに当社作成 ※ グラフの「合計」は当社にて主要旅行業者の海外旅行と国内旅行の総取扱額を合算し算出



- 1. ハイライト
- 2. 新型コロナウイルス感染拡大による旅行市場への影響
- 3. 第3四半期 業績概要
- 4. 2023年3月期 3Qの取り組み
- 5. 2023年3月期 業績予想
- 6. 今後の主な取り組み予定
- 7. 株主優待について
- 8. 参考資料

2023年3月期 第3四半期 業績概要(会計期間)



- 国内旅行市場の回復をうけ、売上高は前年同期を大きく上回り着地、営業損失も前年同期比で大幅に縮小
- コロナの影響は引き続きあるものの、売上高は着実に回復基調(コロナ前比 2Q ▲64.8% → 3Q ▲56.7%)
- 市場の回復を見越し、開発投資を加速(売上原価 前期3Q比 +58百万円)

	単位	1:百	万円						
					2022/3 3Q実績	2023/3 3Q実績	増減額	2022/3 3Q比 (前年同期比)	2020/3 3Q比 (コロナ前比)
売		上		高	356	500	+143	+40.2%	-56.7%
	売	上	原	価	170	228	+58	+34.2%	+34.7%
売	上	総	利	益	186	271	+85	+45.7%	-72.5%
販	売費及	えび-	一般管	理費	297	313	+16	+5.6%	-12.1%
営	業		利	益	-110	-41	+68	-	-
経	常		利	益	-89	-27	+62	-	-
当	期	純	利	益	-90	-38	+52	-	-
営	業	利	益	率	-	-	-	-	-

2023/3 2Q実績	2020/3 2Q比 (コロナ前比)
523	-64.8%
206	+25.1%
317	-76.0%
308	-65.5%
8	-98.0%
24	-94.3%
11	-95.6%
1.6%	-

2023年3月期 第3四半期 業績概要(累計期間)



● 国内旅行市場の回復をうけ、売上高は前年同期を大きく上回り着地、営業損失も前年同期比で大幅に縮小

	単位	1:百	万円		2022/3	2023/3		
					3Q(累) 実績	3Q(累) 実績	増減額	2022/3 3Q(累)比 (前年同期比)
売		上		高	886	1,465	+578	+65.3%
	売	上	原	価	496	601	+105	+21.2%
売	上	総	利	益	390	864	+473	+121.4%
販	売費及	えび-	一般管	理費	896	946	+50	+5.7%
営	業		利	益	-505	-82	+423	-
経	常		利	益	-412	-36	+375	-
当	期	純	利	益	-415	-61	+353	-
営	業	利	益	率	-	-	-	-

2020/3 3Q(累) 実績	2020/3 3Q(累)比 (コロナ前比)
3,942	-62.8%
500	+20.2%
3,442	-74.9%
1,824	-48.1%
1,617	-
1,619	_
1,010	-
41.0%	-

2023年3月期 第3四半期 業績概要 / 四半期業績推移



● 売上トレンドはコロナ前と異なり新型コロナの影響を大きく受けて推移







- 1. ハイライト
- 2. 新型コロナウイルス感染拡大による旅行市場への影響
- 3. 第3四半期 業績概要
- 4. 2023年3月期 3Qの取り組み
- 5. 2023年3月期 業績予想
- 6. 今後の主な取り組み予定
- 7. 株主優待について
- 8. 参考資料

2023年3月期 3Qの取り組み



3Qは37件の開発案件をリリース、更に70件以上の開発案件が進行中

最近のリリース一例

国内航空券

・機内利用可能wifi情報

(令)表示



国内オプション

・Trip.com新規連携



トラベルコアプリ

・トップページリニューアル



海外版(多言語版) Travelko

・SP/PCトップページリニューアル





11 © Open Door Inc.



- 1. ハイライト
- 2. 新型コロナウイルス感染拡大による旅行市場への影響
- 3. 第3四半期 業績概要
- 4. 2023年3月期 3Qの取り組み
- 5. 2023年3月期 業績予想
- 6. 今後の主な取り組み予定
- 7. 株主優待について
- 8. 参考資料

2023年3月期 業績予想



■ 2023年3月期 業績予想

旅行市場は回復傾向にあるもののまだ不確実な要素もあり、2023年3月期の業績を適正かつ合理的に予測することが難しい状況である

そのため、2023年3月期の業績予想については現時点において『未定』とし、合理的な予測が可能となった時点で公表

■ 新型コロナウイルスによる今後の影響と当社方針

新型コロナはまだ収束とはいえないもののコロナが5類感染症相当になることで国内旅行市場についてはさらに回復が見込まれ、海外旅行市場についても円安などの影響があるものの、今後の顕著な回復が期待される

強固な財務基盤と旅行需要に比例した業績回復を見越し、さらに開発投資を進めサービスの拡充及び競争力の強化を図る

※ 2023年3月期3Q末:自己資本比率 89.9%、現預金残高 約29億円



- 1. ハイライト
- 2. 新型コロナウイルス感染拡大による旅行市場への影響
- 3. 第3四半期 業績概要
- 4. 2023年3月期 3Qの取り組み
- 5. 2023年3月期 業績予想
- 6. 今後の主な取り組み予定
- 7. 株主優待について
- 8. 参考資料

今後の主な取り組み予定 / トラベルコ





- 需要回復期における市場ニーズに対応したプロモーション
- 既存メニューのリニューアル及び機能強化
- 新規連携強化による商品情報の拡充
- 国内及び海外の人気スポットなどの観光情報拡大
- 各メニューのクチコミ・評価サービス拡充
- 横断比較サービスのメニュー拡大 (民泊・旅行保険・アウトドアなど)
- 旅行会社向けマーケティングサポートツールの提供
- サイトデザインリニューアル

今後の主な取り組み予定 / TRAVELKO





- 現地大手サイトとの連携強化による価格優位性の確立
- ユーザーインターフェースローカライゼーション強化
- アプリ版TRAVELKOオープン
- ■観光情報の拡充
- プロモーションの検討



- 1. ハイライト
- 2. 新型コロナウイルス感染拡大による旅行市場への影響
- 3. 第3四半期 業績概要
- 4. 2023年3月期 3Qの取り組み
- 5. 2023年3月期 業績予想
- 6. 今後の主な取り組み予定
- 7. 株主優待について
- 8. 参考資料

株主優待について



■ 2023年3月末を基準日とする株主優待実施の見送り

2023年3月末日現在の当社株主名簿に記載された1単元(100株)以上を保有されている株主様に対する株主優待の実施を見送りとさせていただきます。

■ 見送りの理由

当社は、株主の皆様の日頃のご支援に感謝を申し上げるとともに、当社株式への投資の魅力を高め、より多くの方々に中長期的に当社株式を保有いただくことを目的として、株主優待を実施してまいりました。しかしながら、当期第3四半期までの決算状況を鑑み、2023年3月末を基準日とする株主優待の実施を見送ることを決定いたしました。

当社は今後も企業価値の向上に努める所存でございます。何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

■ 対象と内容

- (1) 対象の株主様 2023年3月末日現在の当社株主名簿に記載された1単元(100株)以上を保有されている株主様
- (2) 見送る株主優待の内容 クオカード1,000円分

■ その他

2024年3月期以降につきましては今後の状況等を踏まえ検討していく方針です。



- 1. ハイライト
- 2. 新型コロナウイルス感染拡大による旅行市場への影響
- 3. 第3四半期 業績概要
- 4. 2023年3月期 3Qの取り組み
- 5. 2023年3月期 業績予想
- 6. 今後の主な取り組み予定
- 7. 株主優待について
- 8. 参考資料

2023年3月期 第3四半期 / 貸借対照表



- 自己資本比率89.9%で高い水準を維持
- 現預金残高は2,989百万円

	単位	: 百	万円		2022/3末 実績	2022/12末 実績	増減額
	流重	协資產	<u> </u>		3,274	3,338	+64
現	金	及 て	ド 預	金	3,018	2,989	-29
そ		の		他	255	349	+93
	固定	E資產	<u> </u>		2,094	2,775	+681
	資產	全合計	t		5,368	6,113	+745
	流重	加負債	Ę		171	286	+114
	固定	官負債	E		109	321	+211
	負債	青合計	t		280	607	+326
	純資	産合	<u></u>		5,087	5,506	+418
資		本		金	648	648	-
資	本	剰	余	金	473	473	-
利	益	剰	余	金	3,821	3,759	-61
そ		の		他	144	624	+480
負	債純	資産	合計		5,368	6,113	+745

会社概要(2022年12月末時点)



会社名 株式会社オープンドア

設立 1997年4月

代表 代表取締役社長 関根 大介

資本金 648百万円

上場取引所 東京証券取引所 プライム市場 (証券コード:3926)

旅行比較サイト「トラベルコ」事業内容多言語旅行比較サイト「Travelko」

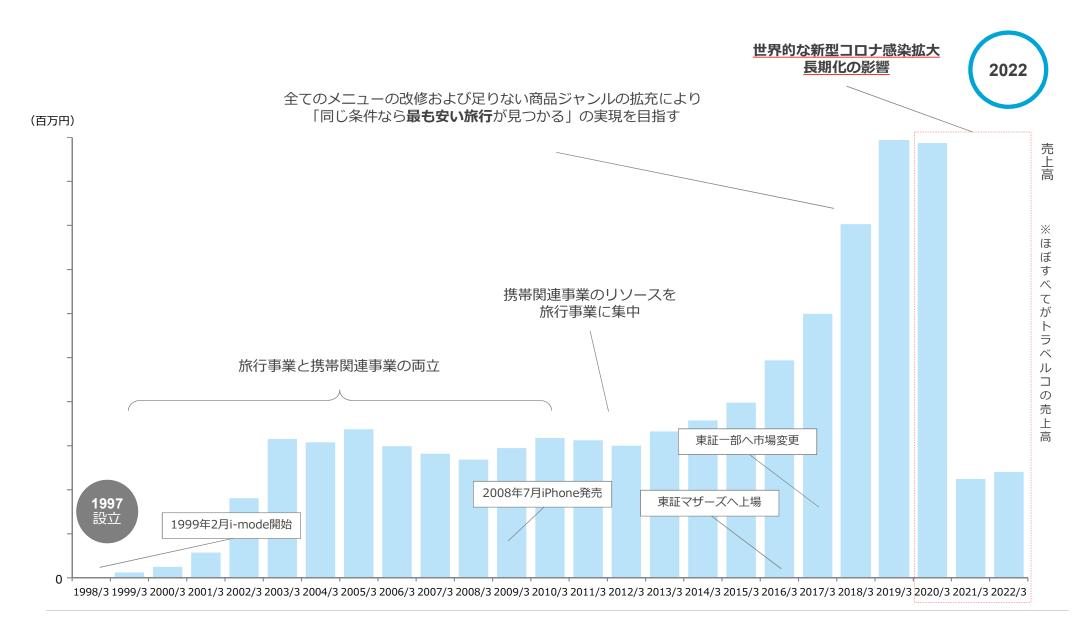
伝統工芸品紹介サイト「GALLERY JAPAN」「KOGEI JAPAN」の運営

連結子会社 ホテルスキップ株式会社 出資比率100% ホテル・航空券の予約、手配、販売

従業員数 連結188名

これまでの歩みと売上高の推移





当社サービス / 旅行比較サイト「トラベルコ」



1,500以上の旅行サイトの商品を比較・検索できる旅行比較サイト





当社サービス / 多言語旅行比較サイト「Travelko」



海外及びインバウンド市場をターゲットとした海外版トラベルコ





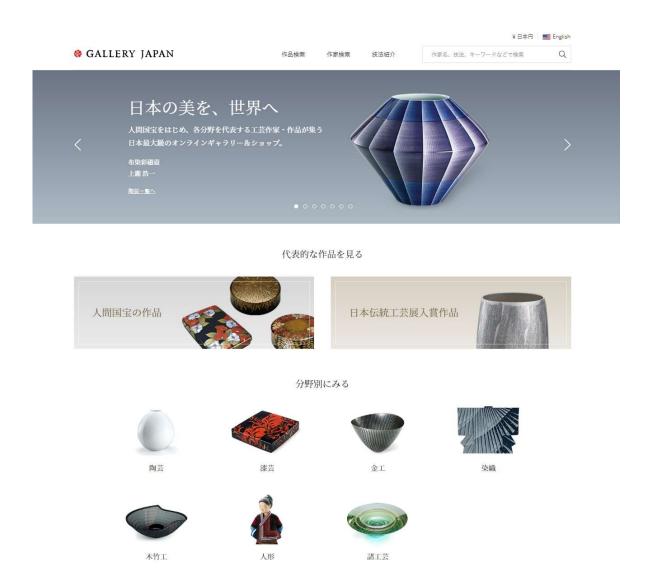
対応言語

英語 中国簡体字 繁体字(台湾) 繁体字(香港) 韓国語

当社サービス / 伝統工芸品紹介サイト「GALLERY JAPAN」



海外及びインバウンド市場をターゲットとした"伝統工芸作品"を世界へ紹介するサイト



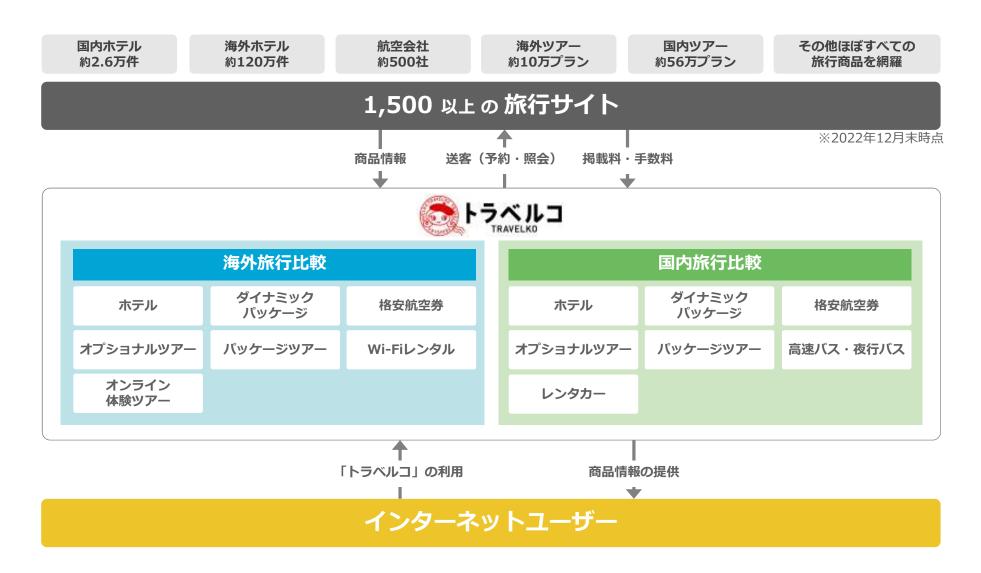


対応言語 英語 日本語

トラベルコ / ビジネスモデル



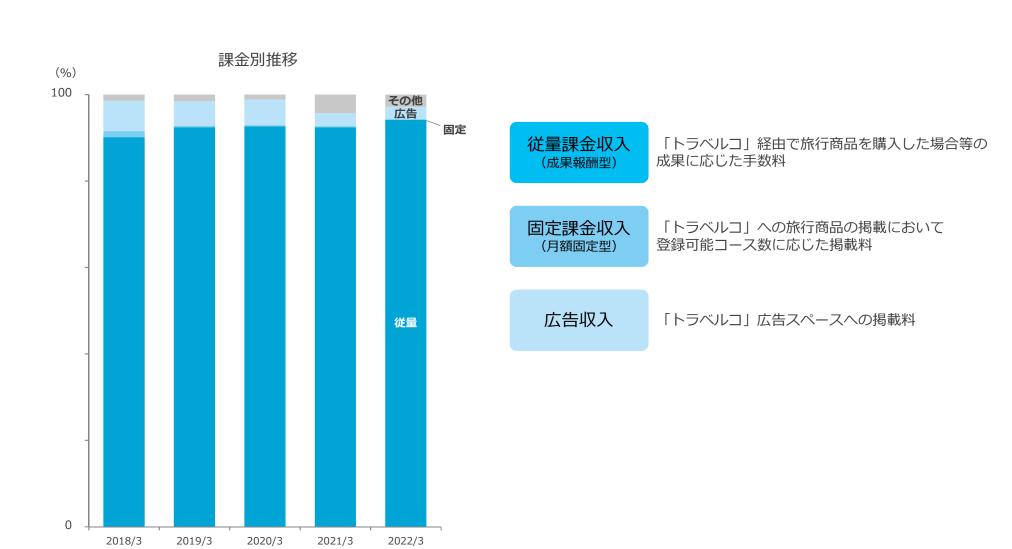
ほぼすべての旅行商品を比較できるビジネスモデル



トラベルコ / 収益モデル



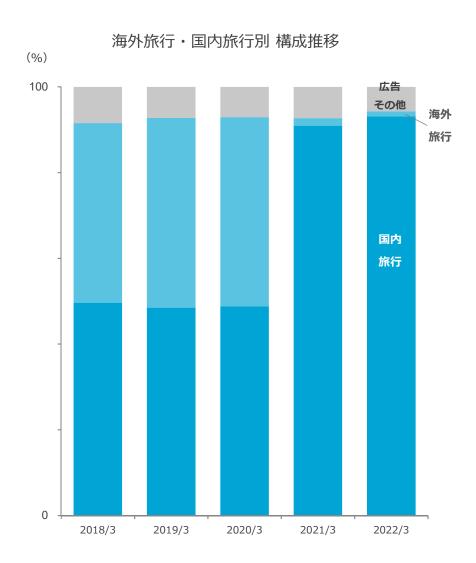
収益モデルは成果報酬型の従量課金収入がメイン



トラベルコ / 海外旅行・国内旅行別売上高構成



新型コロナの影響で2022年3月期も国内旅行がほとんどを占める

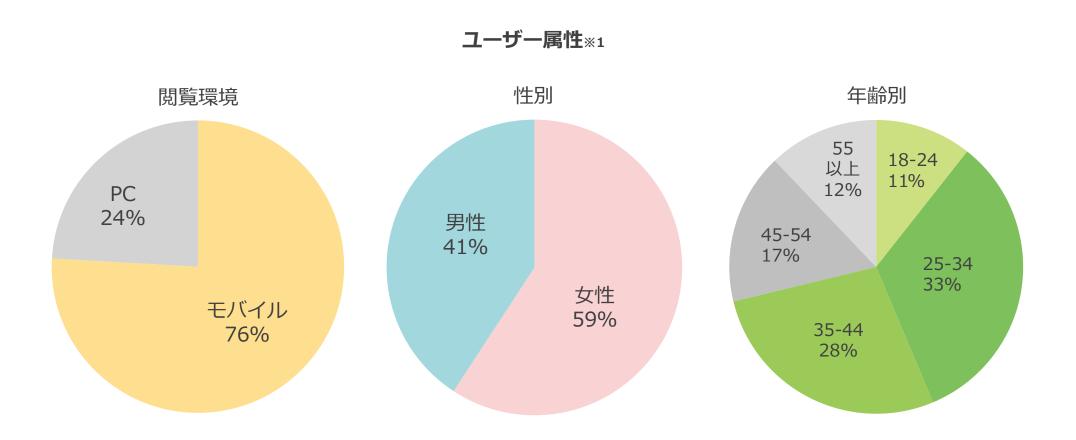


世界的な新型コロナ感染拡大の影響により 海外渡航制限が続いたことで 売上高構成割合が大きく変動

トラベルコ / ユーザー属性



新型コロナの影響を大きく受けユーザー属性傾向の参考になりにくいため2020年3月期データを使用



※1 2019/4-2020/3までの当社アクセス解析データ

トラベルコの強み・特徴サマリー①



多くの比較サイトがある中で、なぜトラベルコはこれだけ幅広いユーザーから支持を得、高い成長を維持できているのか?

1. ほぼ全ての旅行ジャンルをカバー

多くの他社がホテルだけ、航空券だけなどジャンルを絞った比較をしている中で、トラベルコは国内・海外ほぼ全ての旅行ジャンルをカバーしています。ホテル、航空券、パッケージツアー、オプショナルツアー、レンタカー、夜行バス、海外Wi-Fiレンタルなど。

これによりユーザーは自分の旅行をトラベルコのサイト内でワンストップで探せます。

	海外旅行比較	
ホテル	ダイナミック パッケージ	格安航空券
オプショナルツアー	パッケージツアー	Wi-Fiレンタル
オンライン 体験ツアー		
	国内旅行比較	
ホテル	ダイナミック パッケージ	格安航空券
オプショナルツアー		格安航空券高速パス・夜行パス

2. 最も安いプラン・チケットが見つかる

比較できる旅行サイト数が1,500以上にものぼるトラベルコは、もちろん比較できるプラン数も日本最大級です。なので、同じ条件で最安値が見つかる確率は自然と高くなります。

それに加え、旅行サイト側も全ての比較サイトに同一の価格でプランを掲載しているわけではありません。より価格競争が厳しいサイトには、より安く価格を設定する場合が多いのです。

なので、旅行サイト数が圧倒的に多く、競争率が高いトラベルコではさらに最安値が見つかりやすくなるのです。

JTB クラブツーリズム JALパック 小田急電鉄JR東海ツアーズ 近畿日本ツーリスト 日本旅行HIS 東武トップツアーズ 阪急交通社 ANA X西鉄旅行 名鉄観光サービス ベルトラ

楽天トラベル 一休 るるぶトラベル Yahooトラベル

Expedia Booking.com agoda Trip.com

エアトリ Spring Japan スカイチケット スターフライヤー AIRDO

…1,500以上の旅行サイト

トラベルコの強み・特徴サマリー②



なぜトラベルコはそのような強みを実現できているのか?

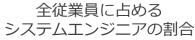
ほぼ全てのシステム開発を内製化

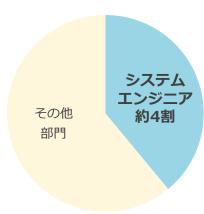
これだけ多くの旅行ジャンルをカバーし、1,500以上の旅行サイトと連携し、またそれら全てを並行して進化させていくためには、膨大かつ高度なシステムの開発が必要となります。

多くの他社は開発を外注しており、その場合、どうしても外注先のリソース、スキル、 スケジュール、優先順位に左右され、自分たちの思い通りの開発はなかなか困難です。

当社は、ほぼ全てのシステムを内製で開発しており、約80名のシステムエンジニアが 日々情報を共有しながら、市場トレンドに合わせ柔軟かつ効率的な開発環境を敷いてい ます。これによりスピード感をもって、かつ高いクオリティを維持しながら並行して全 ての進化を支える開発体制が実現できています。

この非常に高い開発能力も、当社の強みを実現できている大きな理由のひとつです。





本資料の取り扱いについて



- 本書には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。
- 別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計 原則に従って表示されています。
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。



株式会社オープンドア

本資料ならびにIR関係のお問い合わせにつきましては、 下記までお願いいたします。

株式会社オープンドア 管理本部

ホームページ: https://www.opendoor.co.jp